

## 景観まちづくり見学会レポート

報告日：令和 8 年 2 月 3 日

名 称	佐倉まち歩きツアー＋セミナー	主 催	(公社)千葉県建築士事務所協会 景観まちづくり委員会	
日 時	令和 8(2026)年 1月 31日 12:00～16:30	場 所	佐倉市 夢咲くら館・他	
参加人数	34 名 内訳（・一般16名、協会員13名、佐倉市職員3名、県職員2名（計34名）			
概 要 (行 程)	集合/受付 ・12:00	夢咲くら館 1F		
	開会挨拶 ・12:15	会場：夢咲くら館 1F ゆめさくらひろば		
	セミナー ・12:20～13:00	講演 1：「城下町佐倉の町並みとその成り立ち」	佐倉市文化課 須賀隆章氏	
		講演 2：「新町らしい景観づくりの取り組み」	佐倉市都市計画課 野澤芽与氏	
	見 学 会 ・13:00～16:15	夢咲くら館<バス移動>旧堀田邸<バス移動>大手門跡広場<以降まち歩き> ひよどり坂、佐倉武家屋敷周辺、麻賀多神社周辺、裏新町周辺、新町通り周辺		
		意見交換会 ・16:15～16:30	アンケート回収他（於・ゆめさくらひろば）	

## 報告事項

## ○景観まちづくり委員会が主催する令和7年度第1回目の見学会

(目 的)
◇千葉県から受託した「令和7年度第2回景観セミナー企画運営等業務委託」の対象として、江戸時代の風情を色濃く残す歴史と、四季折々の自然に包まれた魅力あふれる佐倉を選定し、江戸から明治期の足跡をたどりながら、城下町佐倉のまちの成り立ちと残された景観の遺跡を今日に活かせるまちづくりの英知を探ることを目的とした。
(実施状況)
◇セミナー（講演）
・講演1「城下町佐倉の町並みとその成り立ち」をテーマに、①佐倉城前史として、戦国時代のもう1つの佐倉城(本佐倉城)や佐倉城の築城の紹介。②城と城下の特色として、江戸時代の城は軍事面より政治・経済に重きを置き、交通の要所の平坦な場所を選び、広がる「城下」を持つこと。佐倉城は「土づくりの城」の集大成で、この時期のもの頂点を極めたこと。③町並みの現状として、明治以降は城下から連隊のまちに役割が変わり、新町や田町は連隊向けの商店で賑わったこと。明治期の火事により多くを焼失したが、その後の保存・整備と併せて本日見学する施設や佐倉順天堂記念館等の紹介。また文化財保存活用地域計画の則る官民の取り組みが紹介された。
・講演2「新町らしい景観づくりの取り組み」をテーマに、景観行政団体佐倉市が策定した景観計画の中で、景観形成重点区域として指定された新町地区について、景観形成の基準の説明と、景観アドバイザー等による景観の誘導制度やその成果の実例や、各種イベントによるまちづくりへの取り組みが紹介された。
◇見学会（まち歩き）（2班に分かれ第1班は須賀氏、第2班は向後氏（佐倉の魅力推進課）にガイドをお願いした）
・旧堀田邸：最後の佐倉藩主堀田正倫の邸宅で、1890(明治23)年に竣工。正倫はここを拠点に教育、産業の振興に尽力。和風様式の主屋は5棟(玄関棟・座敷棟・居間棟・書斎棟・湯殿)で構成され、門番所と土蔵を併せた7棟が2006(平成18)年に国の重要文化財に指定。また、庭園は国指定名勝となっている。この時期建てられた旧大名の邸宅の公的な空間と私的な空間の構成や様式の特徴、近年の映画の撮影等での活用等の説明を受けた。
・大手門跡広場～ひよどり坂：江戸時代の佐倉城関連の遺構や明治から終戦まであった歩兵連隊にまつわる施設について学んだ後、武家屋敷(台地)からお城(台地)へサムライが通い、ボランティア団体等により今も美しい竹林が残されている「ひよどり坂」(LINEトラベルの旅人大賞特別受賞)周辺の高低差のある道のりの歩行を体験した。
・佐倉武家屋敷：佐倉に残る江戸時代の武家屋敷3棟(旧河原家住宅(県指定有形文化財)、旧但馬家住宅(市指定有形文化財)、旧武居家住宅(国登録有形文化財))を巡り、武士の身分による建物の仕様の差や公と私別の空間構成、茅葺き屋根の葺き替えや定期的なかまどの使用による燻蒸、その他の建物の維持管理方法やイベントによる施設活用等の説明を受けた。前面の武家屋敷通りでは土壘や生垣、案内、路面仕様等について学んだ。また、隣接する「侍の杜」(佐倉藩士2家の武家屋敷跡で佐倉藩の侍屋敷林や藩領の植物等を紹介する施設)では、家主(斎藤氏)の好意で屋内外を解放して頂き、お茶とお菓子を提供して、参加者の休憩と懇談の時間を過ごせた。
・鐺木麻賀多神社：佐倉市周辺に18社ある麻賀多神社の1つ。佐倉藩の総鎮守として代々信仰された。現在の本殿は天保14(1843)年堀田正睦の造営で市の指定有形文化財。参加者は本日のイベントの成功等を祈願して各々参拝していた。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧平井家住宅：江戸時代から続く商家。大火により焼失し、明治中期に建てられた建物が現存する最古の商家建築で、意匠や技法用いられて、城址公園・武家屋敷・新町通りの結節点に建てた歴史的景観に寄与。現在耐震改修工事中。（国の登録有形文化財）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・裏新町通り：佐倉養生所跡の石碑、塚本美術館(佐倉市出身の実業家塚本素山氏のコレクションが納められた刀剣類専門の美術館)、山口家住宅(市の登録有形文化財)等について、解説を聞きながら散策した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐倉市立美術館：旧川崎銀行佐倉支店(矢部又吉設計)(県の指定有形文化財)を活かしたエントランスホールにて、建物の歴史について学びながら見学し、トイレ休憩を利用して美術館本館(坂倉研究所設計)も各自自由見学した。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧今井家住宅：新町通りの中央部に位置し、明治中期に建築。細長い短冊型の敷地は当時の面影を残し、江戸時代の地割を残す典型的な商家建築として、歴史的景観に寄与している。（国の登録有形文化財）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おはやし館：郷土の文化・伝統行事・物産の紹介と観光情報発信の施設。秋祭りの山車人形の展示、囃子伝承の場。東京日本橋界隈で古くから使われていた山車の活用等について説明。近々のイベント情報も紹介された。</li> </ul>
<p><b>(所 感)</b></p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のイベントは、募集予定20名に対し、早くから参加希望者が多く、募集開始早々に締め切ることになった。この地域での文化や景観への関心度の高さと、行政・市民のネットワークの充実によるものではないかと改めて感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント当日、参加申込みには間に合わなかったが、飛び込みで参加したいとの、遠方からの方がお見えになったが、傷害保険に未加入になることもあり、セミナーのみの参加をお願いした。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の年代が小学生から80歳代まで幅広く、まち歩きツアーでの安全が危惧されたが、安全確保のために行った措置(班分け、要所での誘導、注意喚起等)により、無事に全員で全行程を歩き通すことができた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本イベントは募集定員20名に対し、募集開始後早期に定員に達するなど、地域の歴史・文化・景観への関心の高さを改めて実感した。あわせて、行政・市民・関係団体の連携により受け入れ体制や情報発信が機能していることが、参加意欲の喚起につながったと考えられる。一方、当日のスムーズな案内の観点から、年代や参加希望者居住地域の幅が大きい部分に備えたより精度の高いアナウンスや保険加入の案内方法(当日参加の扱い)について、次回に向けて運用を整理したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員20名に対し早期に募集を締め切る結果となり、城下町佐倉の歴史や景観に対する関心の高さを実感した。行政・市民のネットワークが整っていることも、参加の広がりを後押ししたと考えられる。今後は、当日の案内や当日参加の取扱い(保険加入)をより精度高く明確にしていきたい。行程の組立て段階から詳細なご指導を頂いた、佐倉市の各部署の皆様のご協力の賜物と感謝しています。</li> </ul>

佐倉まち歩きツアー＋セミナー写真

		
No. セミナー会場:夢咲くら館	No. 案内看板	No. セミナー受付
		
No. 司会:高梨委員	No. 挨拶:井桁会長	No. 講師:向後氏・野澤氏・須賀氏
		
No. セミナー風景	No. セミナー風景	No. まち歩きバス移動
		
No. 旧堀田邸	No. 旧堀田邸	No. 旧堀田邸
		
No. 旧堀田邸	No. 旧堀田邸	No. 旧堀田邸

					
No.	大手門跡広場	No.	ひよどり坂	No.	ひよどり坂散策
					
No.	武家屋敷	No.	武家屋敷	No.	武家屋敷
					
No.	侍の杜 休憩	No.	麻賀多神社	No.	旧平井家住宅
					
No.	裏新町通散策 塚本美術館	No.	裏新町通散策 山口家住宅	No.	新町通散策 佐倉市立美術館
					
No.	新町通散策 旧今井家住宅	No.	新町通散策 おはやし館	No.	おはやし館